



文京学院同窓会会報

Student's Voice



念願のTOEIC九九〇点(満点)を獲得しました。一年次の九三五点から約一年間でこんなに伸びるとは思っていなかったのです。自分でも驚きました。これは、インターネットでBBCやCNNニュースを毎日視聴してスクリーンを読むという作業と英語で行われる授業を履修した成果だと思えます。昨秋における四カ月間の交換留学で培った英語力を維持するため、これからもチャット・ラウンジや映画などを通して「ナマ」の「生きた」英語に触れ続けて行きたいと思えます。そして、将来はその英語力を生かせる職に就きたいと思えます。

地道な努力でTOEIC満点を獲得！ 将来は英語力を生かせる道へ。

外国語学部 英語コミュニケーション学科三年 稲垣 恵美

私は、短期大学で、チャット・ラウンジと留学制度を大いに活用し、英語力を向上させています。チャット・ラウンジでは意欲的な学生からいろいろな面で刺激を受けますし、秋には交換留学生との交流の場ともなります。また、一年次の夏にオーストラリアへ短期留学したのをきっかけに、一年次には一年間ニュージーランドへ留学。国際交流センターのサポートも万全なので、留学に不安はありませんでした！留学を経験し、ヒアリング・スピーキングともに飛躍的に上達しただけでなく、さまざまな文化や感覚にふれることで、人間的にも大きく成長できた実感しています。卒業後は、再度海外の大学へ留学するのが希望。現地でないと感じられない英語+αを学びたいと思っています。



オーストラリアとニュージーランドの二カ国へ留学。卒業後、海外の大学へ留学することを目指しています！

短期大学英語科一年 飯塚 あゆみ



卒業生の皆様いかがお過ごしでしょうか。大学・短期大学ともに大学としての適格及び適合認定証を頂きました。在学生もがんばっていて、TOEICでは満点をはじめ本年の八〇〇点以上は十二名あり、短大の就職も好調です。今回は後輩の様子をご紹介します。

学長 島田 燐子

第三者評価「適格」を

いただきました

短期大学英語科学科長

林 寛美



同窓生の皆様、如何お過ごしでしょうか。

武田修一

先生が定年で退職になられ、その後の本年四月より学科長を務めてあります。在学生の皆さんへは「学生時代は『未知への挑戦』です。ここでは、何事に対しても挑戦するつもりで一層積極的に臨んでください」といつも言っておりますが、いま自分自身にとってもそうだと思うことがしばしばあります。

さて、学校教育法の一部改正により、平成十六年度から大学は、教育及び研究、組織および運営ならびに施設などの総合的状况について、少なくとも七年間に一度、文部科学大臣の認証を受けた認証評価機関による「第三者評価」を受けることが必要になりました。

これに基づき、本学は、認証評価機関である(財)短期大学基準協会による「第三者評価」を、平成十九年度に受け、短期大学評価基準を満たしている

ことから、素晴らしい評価の下に、平成二十年三月十九日付で「適格」という結果をいただきました。いま関係者をはじめ皆が喜んでおりますが、特に嬉しかったことは、五人の評価委員の先生方による突然の在校生へのインタビューで、本学学生が絶賛されたことでした。そしてまた、同窓生の皆様の社会での活躍が大きく評価されたことでした。

私たち教職員は、いまこの評価結果に驕ることなく、多くの皆様のご支援をいただきながら一丸となつてさらに頑張つていこうと決意を新たにしております。

いま短期大学は厳しい時代を迎えておりますが、本学は、平成十八年度から新しいコース制(二コース、六志望コース)を導入し、また、同窓生皆様のご活躍もあり、応募者は増加傾向にあります。今後も引き続き絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓生の皆様のご健勝とますますのご活躍をお祈りいたします。

母校を盛り上げましょう

同窓会会長

森田 喜代子



同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。それぞれの道で活躍されていることで

皆様が過ごされた本郷キャンパスは、卒業されて久しい方には驚くばかりの姿を遂げておりますし、最近卒業された方にはなつかしい場所として心に残っていること存じます。

平成二十一年五月二十三日(土)オール文京フェスティバルが開催されます。学園創立七十五周年の際も沢山の方に参加いただきましたが、今回は八十五周年、前にも増して本郷キャンパスに集い、旧交を温めましょう。是非お気軽にお越し下さい。

オール文京フェスティバル

平成二十一年五月二十三日(土)

※詳細は来年三月頃ご案内致します

又、文京学院校友会が来年四月に発足予定。ただいま準備段階ということで、文京学園全体が一つになって母校を盛り上げて(支えて)いこうという気運が高まっております。

学生時代のみならず、生涯母校との接点を大切に、人間関係をふくらませていきましょう！

オープンキャンパスで落語を披露

英語で



感謝と感動の 四十二年間

武田 修一

こち吹かば 花咲き実る 時を得て
知性美満つる 学び舎永久に
文京女子短期大学が創立された翌年、昭和四十年に奉職し、この春定年を迎え、四十三年間の教員生活を納めることができました。

人生の大半を、教育環境の整った文京学園で、つつがなく共に学べた有り難さを、今しみじみと反芻してあります。

三代に亘る島田学長先生の尊き薫陶を受け、良き師、良き友、良き教員に恵まれ、天職を全うできた嬉しさは格別です。

長い間ご教導賜り、ご支援いただきました皆々様に心から感謝致し厚く御礼申し上げます。今は御縁の深さに只合掌する境地です。

文京の生徒・学生は、素直で温順、誠実・勤勉な方が多く、そのお陰様で、授業に赴く際は、気構えもその都度新たにになりました。

ご卒業後も、様々な分野でのご活躍する皆様のお姿を垣間見るにつけ、誠実・勤勉・仁愛の精神を發揮され、精一杯それぞれの職務を立派に果たされてい

る皆様のお姿は、実に麗しく、くくくく文京生を誇りに思います。

四十三年間の思い出は尽きませんが、初めてのアメリカでの語学研修、全員で楽しみ学んだつくば万博、花火に感動した熱海寮での合宿、餅つきが恒例になった軽井沢寮でのゼミ合宿等は、今でも鮮明に蘇って参ります。

退職後、心優しい卒業生・在校生の皆様が偶然お会いする度に懐かしさが募ります。

キャンパス内では、卒業生の職員の方が、同窓会の役員としても活躍されています。

森田会長の下で責務を遂行され、そのご活躍振りは文京生の鑑となり、文京のよき伝統を後輩に伝えて下さり、感謝に堪えません。

皆々様から数々のご厚情を賜り忝なく存じます。大変お名残惜しみつつ筆を擱きます。

末筆ながら皆様のご健勝とお幸せとご活躍を、心を込めてお祈り申し上げます。



平成20年3月15日 謝恩会の後、卒業生と一緒に
(森田会長の右が高取先生、左が武田先生)

充実した 十七年間に感謝

高取 清

卒業生の皆様方にはお元気で充実した日々をお過ごしのことと存じます。去る三月十五日の卒業式後の謝恩会で、卒業生の方々に会いして暫く歓談させて戴きました。皆さん立派な社会人として活躍されている様子で、健康的で輝いているのを拝見し、文京の学生の豊かな可能性を間近で見ると、省みると、十七年前に、前任

校の思いもよらぬ教員への扱いに絶望して、教師を辞めようと思つておりました。縁あって文京学院大学の前身

である文京女子短期大学へ転任してきました。本校の教育的雰囲気は前任校とは全く対照的で、自由で、教員間の関係もこの上なく良好で、お互いに協力的でした。また、学生も明るく健康的で、心のやさしい人たちでした。こうした雰囲気の中にある間に大学や学生に対する不信任は払拭され、再び教育に全力を注ぐ覚悟ができました。

それから十七年間、充実した教員生活を送ることができ、また多くの素晴らしい学生とのふれ合いを経験させていただきました。今、大学を去るに当たり、文京学院大学と文京学院短期大学は人間味のある素晴らしい大学であり、明るい雰囲気、満ち溢れた大学であること、あらためて感じております。そこで長い間教育に携わったことを大いに誇りに思うと同時に、卒業生の皆様にも、皆様の出身校が素晴らしい大学であることに誇りを持ってもらいたいと願っております。皆様もまたには大学においてになり、元気で明るい後輩たちにふれ合つて、文京学院大学が益々発展している様子を誇りになつて下さい。

末尾になりますが、卒業生の皆様のご多幸と益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。



持田篤教授 ご退職



平成十九年十一月一日付で、持田篤先生（元人間学部教授）に名誉教授の称号が与えられました。島田輝子学長から持田篤先生に「文京学院大学名誉



教授称号記」が平成十九年十二月二十一日、持田先生のご自宅で授与されました。

また、学園を代表して小野恵市理事、ふじみ野キャンパスを代表して、舟木玲子学生支援センター長が同行しました。持田先生と持田令夫人早苗さんが温かく迎えてくださり、昔話にしばし時を忘れました。

持田先生は昭和三十八年四月、文京学園女子高等学校・中学校の音楽の講師として勤務され、昭和四十年より短期大学にお勤めになり、その後大学の教授として教鞭をとられました。学生部長・教務部長、保育科の学科長を歴任し、平成十九年十月末に退職されました。持田先生のこれからの活躍をお祈りいたします。

「ぶんぎょうニュース」141

平成二十年二月一日発行 より

文京学園理事

文京学院大学・短期大学

統括ディレクター（大学事務局長

小野恵市氏 記



月日が流れ

短期大学二十一回生

山本スーザン久美子

文京学院短期大学卒業生の皆様こんにちは。昭和六十一年三月に英語英文学科を卒業致しました山本スーザン久美子と申します。早いもので卒業から二十数年の月日が流れました。本日はその道のりと近況をお話致します。

在学中から卒業後にかけての十ヶ月間、おニヤン子クラブというグループに所属し芸能活動を致しました。夕方の生放送出演に加え、歌番組やドラマ出演、日本武道館他でのコンサートツアーと休みもなく国内や海外と飛び回る日々でしたが、仕事に対する心構えや礼儀作法等社会人としてどうあるべきかの多くを学ぶことができました。その後鉄道会社に入社。総務課勤務ののち約九年間営業職として主に切符の販売に従事致しました。お客様の旅行のお役に立てる仕事は楽しく、希望のチケットを手にしたお客様の笑顔がとても励みになり、さらにがんばろうと国内と一般旅行業務取扱主任者資格も取得致しました。

平成八年よりグループ会社の出版社に つり書籍事業に関わって参り

ました。現在では書籍営業のリーダーとして、販売戦略及び事業収支計画の作成、チームの運営、営業実務と体と脳をフル回転させています。

失敗や壁にぶつかり意気消沈しながらも、そのくやしさをバネに努力を続けて参りましたが、ここまで歩みを進めることができましたのも多くの方のおかげと感謝しております。

もちろん仕事だけでなく、旅行、読書、観劇など遊びにも打ち込み充実した毎日です。

このように人生楽しく過ごしております。

末筆ながら、皆様のお幸せを心よりお祈り申し上げます。



「これまでの私」

短期大学三十六回生・大学外国語学部一回生

西浦可奈美



二〇〇三年三月三日、友達が卒業旅行に行く中、私は某航空会社のグラウンドスタッフとしての訓練が始まりました。

訓練を終え、初めてお客様の前で立った時、恐怖感でいっぱいだったのを覚えています。「もし学生ではいられないのだ、これからは、会社の顔として一社員として見られてしまつたのだ。」と、初めて「社会人」という言葉の重さを感じました。

世界の玄関口である成田空港で働いたことはとても幸運なことでした。常に世界の流れに直面することができ、国民性の違い、文化で、いかに当社のサービスに満足して頂けるかという挑戦は私を大きく成長させました。しかし、同時に「コミュニケーションに欠かせない言語の大切さも感じました。」

「英語をもっとうまく話せたい。」緊急時の時に海外から来られるお客様との「コミュニケーションに苦戦してしまつた自分が情けなくて、一年間のグラウンドスタッフを退職し、アメリカでグラウンドス

タッフとして働くインターンシップを志願しました。それには運良く合格しましたが、アメリカではテロ以降ビザの申請が難しく、ビザはすべからずありませんでした。何度も何度も挑戦しましたが、結果は同じく、結局、JFK空港でのインターンシップは諦めなければならなくなりました。「何の為に会社まで辞めたのだらう。」と、後悔と挫折を感じましたが、自分を立て直すためにも、以前から興味があったデュース二のサービスを学びたいと思い、デュース二アンバサダーホテルでゲストサービスとして働き始めました。そこでは空港とは違ったデュース二ならではの特別なサービスがあり、だからこそゲストと呼ばれるお客様は満足されるのだというまさに「デュース二マジック」を学ぶことができました。しかし、ホテルで働きながらも「留学したい」という気持ちが高まる一方だったので、一年半後、大学時代から希望していたシエークスピアの国へ留学を決意しました。

初めは三月月の渡英留学の予定でしたが、もっと英語を学びたい、そしてロンドンヒースロー空港でグラウンドスタッフとして働きたいという気持ちから、日本に一時帰国し学生ビザを取りなおして、新しいイギリス留学が再スタートしました。

初めはイギリスでの滞在費のため、

昼間は学校に行き、授業が終わるとイギリス人の家庭で住み込みのベビーシッターをし、それ以外の平日は日本食レストランで働き、土日はアパレル店員として朝から晩まで働いていました。休日という日はなく、ただ早く英語を上達して、資金をためて、ロンドンヒースローの航空会社で働きたいという気持ち一心で、人生で最大の貧乏生活をしていました。時々、「何のためにこんなにも働いているのだらう、本当に夢はつかめるのだらうか。」とくじけそうになって日本に帰ってしまいたいと思う時も何度もありました。

「このままでは日本に帰れない。あの時やめて後悔したのだからもう一度ヒースローで働いてみせる!」という気持ちから、ヒースロー空港に何度も履歴書を持っていきました。最初は英語力のなさを、インタビューする受けることができず、門前払いの日々でした。しかし、一回目、二回目と何度も足を運び、三度目でやっと面接に進むことができました。現在、ヒースロー空港のグラウンドスタッフとして働いております。初めて新しい制服に袖を通した時は、感激のあまり、またグラウンドスタッフとしてカウンターの立てるといっ嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいでした。

「夢は諦めるものでなくて、叶えるものなんだよ。」昔、上司に言われた言葉

葉。『つかむ』と言われるより、『叶える』と言われた時、とても現実味があつた。ただ、つかんだだけでは簡単に離れてしまつてもできる。でも、叶えた後には経験として能力が残る。

「そうだな、それくらいの気持ちがないと今の時代、やりたいことはつかめない。」

日本にいらすべしに諦めていたかもしれない。外国という何も無い状況で目指すものがた一つしかなかったから、後ろを振り返らず前だけを見ていけたのだらう。私の海外生活、決して楽なことばかりではないし、こんなにも惨めな思いをしたことはなかったけれど、がむしゃらに何かを追い続けることは今だからできることだと思います。その時間は本当にあつという間で自分でもよく覚えていないのだけれど、一つだけ言えることは、ただじつとして考えていた時間はなかったと思います。常に時間を命いっぱい使って行動していた。

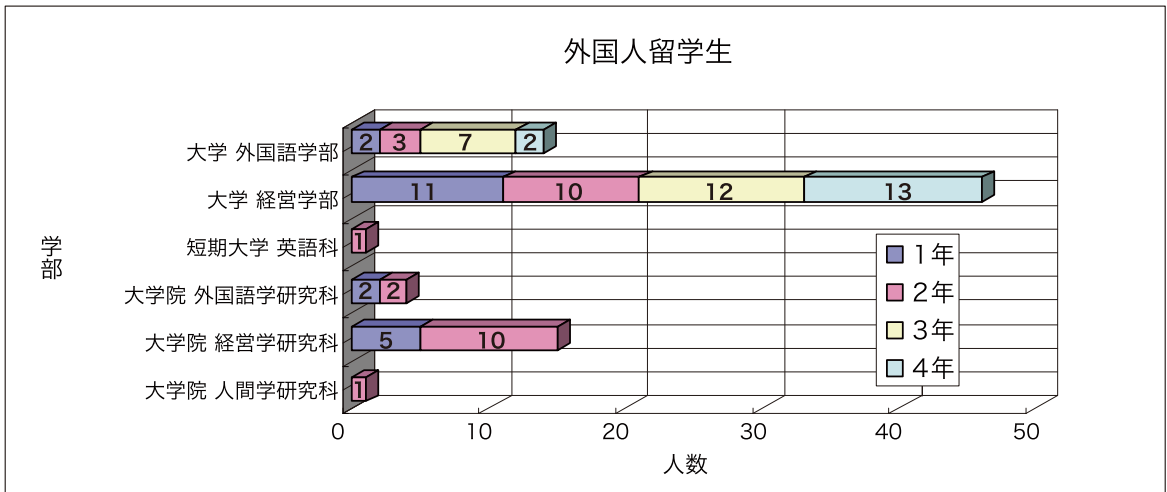
大学時代に小田島雄志先生の授業で感銘を受けたシエークスピア。そして桑子順子先生のゼミで学び、私の卒論題材でもあつた『十二夜』を帝国劇場(Miijical)で見ることがあります。「どんな夜も、明けないはずはない。希望をもちば。」

大地真央さんが歌つたこの詩は私のお気に入りです。

本学の国際交流・留学について

日本から世界へ。世界から日本へ。

「多文化共生」の観点から、国際交流を推進しています。充実した留学プログラムを利用して、海外に渡る学生は年間約150人にもなります。またキャンパス内には、アジア各国を中心に100人近くの外国人留学生在籍。さらに、米国の大学をはじめとする海外からの交換留学生も多く受け入れています。1年間にわたる長期交換留学生や、後期に実施される国際連携プログラムに参加する各国の学生とも共に学べ、キャンパス内で多文化共生を実践しています。



国際連携教育プログラムとは？

毎年8月末からアメリカのセント・ベネディクト大学/セント・ジョンズ大学、マレーシアのマラ工科大学、カナダのトンプソンリバー大学から総勢約20名の交換留学生を本学で受け入れています。本プログラムは、全て英語で行われる日本経済・社会また生活・文化等をテーマとした講義や日本語の授業の他に、企業見学や国連大学訪問を始めとした数多くのスタディ・ビジット（学外授業）から構成されています。英語のできる文京生も、この留学生クラスに参加することができます。4ヶ月間のプログラム期間中、学生たちは本学の寮（学生交流会館）に滞在します。

<スケジュール>

8月	開講式
9月	根津神社参拝・軽井沢研修旅行・アドミュージアム見学・根津神社例大祭・朝日新聞社見学・三菱UFJ証券㈱訪問・ホームステイ・願行寺参拝
10月	国会議事堂訪問・吉祥寺座禅体験・国連大学訪問・文京祭・ジブリ美術館見学
11月	Thanksgiving Day
12月	クリスマスパーティー・修了式・京都旅行（CSB/SJU学生のみ）



朝日新聞社にて



根津神社例大祭



国連大学にて

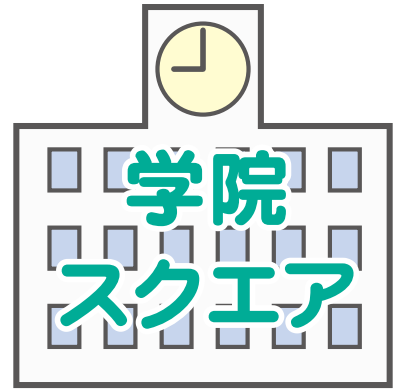
交換留学



本学クリスマス・パーティーにて



国会議事堂にて



同窓会活動報告

平成十九年九月二十二日(土)

第四九回役員会(月一回)

平成十九年十月二十日(土)

二十一日(日)

文京祭にて「バザー」を開催

平成二十年三月十五日(土)

卒業式出席

会長挨拶

平成二十年四月六日(日)

入学式出席

平成二十年八月二十九日(金)

『文京学院同窓会会報』第五号発行

地震お見舞い

申し上げます

岩手・宮城内陸地震の御見舞いとして、同窓会より義援金を送りました。

Let's talk about ANYTHING!!

多くの同窓生が読んでいる、この同窓会会報。そこで私たちは、今の日本や世界で起きていることや、私たちが少しでも何か出来ること、知らなかつたことを知ることに、それを人に伝えること、疑問に思っていること、などをこの場で共有できればいいなと思います。知る、考える、それを行動に移すことのきっかけになればと考えています。何か共有できることを教えてください。

例えば、エコのこと、エコって何か自分で出来ること、していますか。

グリーンコンシューマー
(Green-Consumer) という「コトバ」知っていますか。

グリーンコンシューマーとは、

「緑の消費者」と訳せますが、この「緑」は「環境にやさしい」を意味し、買い物をするときに、「できるだけ環境に配慮した製品を選んで購入する消費者のことを言います。」

少しずつ環境を考えながら生活していきたいですね。

臨時総会開催

日時 平成20年10月18日 12時

場所 B's cafe (ブーズカフェ) 文京祭初日

議題 校友会について

学校職員 江利川 勝枝さん 退職

文京学院短期大学創立以来、快適な学院生活の支援や、また同窓会の活動等にも多大なご尽力をいただきました。永い間本当にお疲れ様でした。



同窓会室にて花束を手に

事務局よりのお知らせ

◎毎月第三金曜日 午前十時半～午後三時半

☎〇三・三八一四・一六六一

◎同窓会へのご連絡、お問い合わせは事務局への電話か、葉書でお寄せください。

編集後記

外国語部の一回生が主体となつて会報誌を作ることに、楽しみである反面、困惑しました。なぜかという、皆仕事をしている為、同窓会室での作業や印刷会社さんとの打合せに、うまく時間がとれないからです。しかし、仕事の合間を縫って慣れない作業に四苦八苦しなから、なんとか無事に本紙を完成させることができました。これも、先輩同窓会役員のおかげと印刷会社さんのご協力のおかげです。多くの同窓生の方々に情報発信できたことをうれしく思います。私たち初の編集を楽しんでいただけましたら幸いです。

(桜井・小林)

文京学院同窓会会報

第五号 平成二十年八月二十九日

発行

文京学院大学外国語学部

文京学院短期大学 同窓会

〒113-8668 東京都文京区向丘一丁目十九番一号
電話 〇三・三八一四・一六六一

第44回
文京祭
10月18日(土)
19日(日)